

令和6年度 輸送の安全に関する目標および行動計画

- 目 標**
- ・自動車事故報告規則2条に規定する事故(重大事故)件数 **ゼロ**
 - ・人身事故 **0件** ・物損事故 **0件**

安全重点施策 ①車間距離保持の徹底 ②乗務員の労働時間の管理徹底、過労運転を防止

<輸送の安全に関する計画>	
安全に関する各種交通安全運動への積極的参加、各運動、キャンペーン期間中における事故防止運動を展開し、輸送の安全性の向上を目指します。	
① 安全に関する運動への積極的参加	交通安全運動 年末年始の輸送における安全総点検 飲酒運転撲滅運動 シートベルト着用推進運動
② 安全に関する指導の強化【講習・訓練・研修】	経営トップによる点呼時の立会査察・添乗立会査察実施 初任運転者・事故惹起者への実技訓練を含めた個別指導、適性検査の受診 運転者の経験、車種毎における技術・知識向上のための指導監督 危険予知トレーニングシート、ドライブレコーダー、デジタコの記録の活用 非常事態発生時の事故対策(車両火災、事故、テロ)として外部研修への参加 感染症対策、健康診断、睡眠時無呼吸症候群簡易検査、脳ドック等の実施
③ 運転保安に関する業務の充実強化	「ヒヤリ・ハット」情報の収集と活用 指差呼称による日常点検実施の徹底
<輸送の安全に関する教育及び研修計画>	
① 管理者に対する教育	安全統括管理者による点呼立会査察後の指導 バス協会主催の「安全輸送講習会」の受講 自動車事故対策機構の適性検査活用講座の受講 安全マネジメント活用講座の受講
② 乗務員に対する教育	自動車事故対策機構の適性検査の受講と活用 安全統括管理者による乗務添乗査察後の指導 外部機関の実施する応急救護、接遇講習の受講

<短期重点実施事項>	
4月	子どもと高齢者との事故防止 危険を予測 徐行運転
5月	交差点を含む右左折時の事故防止 指差確認の徹底
6月	後退、車線変更時の事故防止 目視による安全確認
7月	過労運転防止 十分な休息確保
8月	追突・接触事故防止 安全車間距離保持
9月	非常事態発生時の事故防止 緊急連絡体制の周知徹底
10月	早めのライト点灯推進運動
11月	感染症・インフルエンザ対策
12月	日常点検推進運動 脳ドック・睡眠時無呼吸症候群検査
1月	冬道走行・凍結路面でのスリップ事故防止 正しいチェーン装着方法と安全速度の理解
2月	シートベルト着用推進強化 声かけ見回りの励行
3月	追突・接触事故防止 ヒヤリ・ハット情報の共有と事故防止対策

<輸送の安全に関する経費概要>	
デジタルタコグラフ導入	2,400,000 円
安全教育費(一般診断、適齢診断等)	20,000 円
運輸安全マネジメント費用	18,000 円
貸切バス適正化事業負担金	166,000 円
一般健康診断	50,000 円
脳ドック検査	66,000 円
睡眠時無呼吸症候群簡易検査	31,000 円
運転経歴書取得費用	5,000 円
安全表彰経費	100,000 円
感染予防対策	100,000 円
総額(車両代替費除く)	2,956,000 円

<人員体制に係る情報>									
	花北営業所	新花巻営業所	花巻松園営業所						
運 転 者	6 人			(運転者以外の業務を兼務する者も含む)					
運 行 管 理 者	2 人	2 人	2 人						
運 行 管 理 補 助 者	2 人	2 人	2 人						
整 備 管 理 者	1 人	1 人	1 人						
整 備 管 理 補 助 者	2 人	2 人	2 人						
<保有車両に係る情報>									
営業所	車両数	年 式(西暦)		平均 車 齢	ドライブレコーダー 搭載導入台数	デジタル式運行 記録計導入台数	ASV 搭載 導入台数	主な 運 行 態 様	
		最古	最新						
花 北 営 業 所	大型	2	1994	1998	27	2	0	0	学校・企業送迎
	中型	2	1994	1995	28	2	0	0	"
	小型	1	1996	1996	28	1	0	0	"
新 花 巻 営 業 所	大型	0	-	-	-	-	-	-	
	中型	0	-	-	-	-	-	-	
	小型	1	1995	1995	28	1	0	0	学校・企業送迎
花 巻 松 園 営 業 所	大型	0	-	-	-	-	-	-	
	中型	1	1999	1999	24	1	0	0	学校・企業送迎
	小型	0	-	-	-	-	-	-	

以上をもって安全マネジメントにおける目標と計画の策定と方針の提起とする